

## Laboratory Automation Developers Conference | LADEC 2026

## ラボラトリーオートメーション月例勉強会（2026年度開催分）

## 趣意書

一般社団法人ラボラトリーオートメーション協会 代表理事 神田 元紀

## ご挨拶

謹啓 貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

近年のラボラトリーオートメーション分野は大きな注目を集めています。産業面では、米国調査会社によると、ラボラトリーオートメーションの市場規模は2024年に73.3億ドルとされ、2029年には114.1億ドル（年平均成長率9.2%）に至ると評価されています。学術面では、Self-driving laboratoriesがNature誌の「2025年に注目すべき7つの技術」に挙げられています。一方で、ラボラトリーオートメーションはロボット技術・情報技術・生命科学等のアプリケーション分野により構成されますが、このような融合領域の研究開発を加速させるためには、アカデミア・企業を問わず研究者・開発者、特に現場層が深い交流をすることが大きな鍵になります。

これらの背景から、生物学・医学を含む生命科学研究室におけるあらゆるプロセスの自動化に取り組んでいる研究者・開発者がコアメンバーとなり、ラボラトリーオートメーション研究会が2019年5月に組織されました。本研究会では月に一度の「ラボラトリーオートメーション月例勉強会（月例勉強会）」と年に一度の開発者会議「Laboratory Automation Developers Conference（LADEC）」を開催しております。

月例勉強会は2019年5月から2025年11月までの間に73回開催し、毎回現地会場は30名、オンライン会場は150名前後の参加をいただいております。コミュニティメンバーは4000名を超え、本邦における自動化を代表するコミュニティへと成長することができました。化学分野の自動化研究者および開発者にも数多くご参加いただいております。参加人数だけでなく自動化の対象となるアプリケーション分野の範囲も拡大しています。所属や立場に関わらず、各分野の現場の研究者と技術者が次世代の研究開発環境を「自動化」という軸のみで議論する場として成果をあげております。

LADECは月例勉強会の規模を拡大し、年に1度、業界をリードする開発者による講演や最新のテクノロジー、ビジネス情報が発信され、自動化の第一線で活躍する開発者、技術者、研究者が一堂に会する場として開催しております。従来の学会では自動化によって達成されたことの紹介を目的とした発表が多くなされますが、LADECは自動化そのものを主題とした学会です。2025年に日本科学未来館で開催したLADEC2025は現地会場の規模を拡大し、約450名の方にお集まりいただきました。生命科学や化学分野の自動化、自動化を高度化するAIや情報科学のセッションに大変多くの方にご参加いただいたほか、海外演者を同時通訳つきで複数名お招きし、海外の自動化の潮流に触れるセッションも実現しました。2026年も現地会場の密な交流の機会を活用し、自動化のノウハウの共有と、これからの自動化について議論する未来志向の会となるよう企画を進めて参ります。

つきましては、本会の趣旨にご賛同いただき、何卒格段のご配慮を賜りたくお願い申し上げます。

末筆ではございますが、貴社の益々のご繁栄を心より祈念申し上げます。

謹白

2025年12月吉日

## 団体概要

団体名称：	一般社団法人ラボラトリーオートメーション協会
英語名：	Laboratory Automation Suppliers' Association (LASA)
設立日：	2024年4月1日（一般社団法人設立） 2019年5月1日（任意団体設立）
代表理事・会長：	神田 元紀（東京科学大学）
ウェブサイト：	<a href="https://lasa.or.jp/">https://lasa.or.jp/</a>

## 開催概要

### ●LADEC

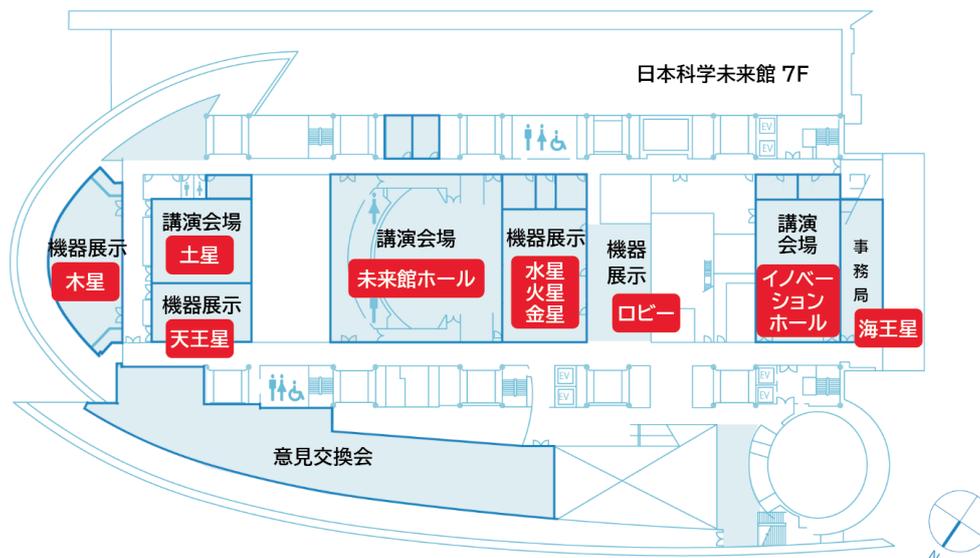
1. 会議名称： Laboratory Automation Developers Conference | LADEC 2026
2. 開催日時： 2026年7月2日 [木] -3日 [金]
3. 会場： 日本科学未来館 7階 未来館ホールほか（講演のみオンライン配信予定）
4. 予定参加者数： 現地500名、オンライン500名を上限として開催予定
5. 言語： 日本語・英語
6. プログラム（予定）： 特別講演、招待講演、一般演題（口頭・ポスター）、機器展示
7. 事務局連絡先： LADEC2026事務局  
担当 加藤  
E-mail [ladec2026@lasa.or.jp](mailto:ladec2026@lasa.or.jp)

### ●月例勉強会

1. 会議名称： Laboratory Automation月例勉強会
2. 開催日時： 毎月月末開催（都合により中止になる月があります）
3. 会場： 現地開催・オンライン開催等（感染症等の状況により調整を致します）
4. 予定参加者数： 現地開催30～100名、オンライン開催100～200名程度（実績値）
5. 言語： 日本語
6. ウェブサイト： <https://laboratoryautomation.connpass.com>

## LAEC2026企画概要

### ●会場レイアウト



### ● 講演セッション

- 合計3会場のマルチトラックを設定予定です
- 海外からも複数の演者をお招きする予定です。英語セッションには同時通訳を付けます
- 関連分野（生命科学・化学など、AI・情報科学、ロボットなど）ごとのセッションを設置予定です

### ● ポスター発表

- 自動化に関する技術や研究開発等をご発表いただけます

### ● 機器展示

- 自動化に関する機器やソフトウェア等を展示・紹介いただけます
- 展示小間数を拡大します

## LADEC2025開催実績

日時：2025年9月25日 [木] 12:00-20:00、26日 [金] 10:30-19:00

会場：日本科学未来館7階 未来館ホールほか（東京都江東区青海2丁目3-6）

参加者：現地参加443名、オンライン参加436名

参加者分布：アカデミア（管理職）9.6%、アカデミア（非管理職）37.4%、企業（管理職）13.5%、企業（非管理職）21.4%、学生 10.0%、その他 8.1%

### 【記事等】

「実験自動化のカンファレンスが開催、実験機器の制御にAIを活用する手法の開発が活発化」（2025/10/06, 日経BP）

<https://bio.nikkeibp.co.jp/atcl/news/p1/25/09/29/13782/>

### 2025年9月25日（木）

時刻	内容	演者等
12:00-12:30	オープニング	
12:30-14:00	セッション1A	ラボラトリーオートメーションの基礎知識と最新情報 神田 元紀（東京科学大学）
	セッション1B	有機・無機合成実験の自動化・自律化の最前線 吉川 成輝（東京科学大学）、熊田 佳菜子（産業技術総合研究所）、秋山 世治（理化学研究所）、林 博之（京都大学）
	セッション1C	生命科学研究を支える技術の歴史と進歩 岩田 想（京都大学）、養王田 正文（東京農工大学）、神原 秀記（フロンティアバイオシステムズ株式会社）
14:00-14:30	自己紹介LT	
14:30-15:15	セッション2A-1	AIエージェントとAWSクラウドで構築する Lab in the Loop 原田裕平（アマゾンウェブサービスジャパン ソリューションアーキテクト）
15:15-16:00	セッション2A-2	Catalyst ACS: Software Infrastructure for Modular, Resilient, and Scalable Lab Automation Will Serber, General Manager, and VP, Ginkgo Automation
14:30-16:00	セッション1B	材料・化学プロセスの自動化はどこまで進化してきたか、どう生きるか 山口 祐貴・Don N. Futaba（産業技術総合研究所）、脇内 新樹（JSR株式会社）、冨中 悟史（NIMS）
	セッション1C	DBTLサイクル 浅野 悠紀（東京大学）、田村 亮（NIMS）、林 周斗（東京科学大学）、馬場 健史（九州大学）
16:00-16:30	自己紹介LT	
16:30-18:00	機器展示 ポスター発表	
18:00-20:00	意見交換会	

2025年9月26日（金）

時刻	演題	演者
10:30-12:00	セッション3A	Chemspeed自動化の概要と3つのケーススタディ E2E DMTL Mathias Cherbuin (Chemspeed) 、塩田 晃久 (イーエムアール株式会社)
	セッション3B	生命科学のオンデマンド自動化 落合 幸治・藤田 美紀 (理化学研究所) 、神野 誠 (国士舘大学) 、史 蕭逸 (筑波大学)
	セッション3C	創薬スクリーニングと自動化 — 過去・現在・未来 和田 玲子 (アステラス製薬株式会社) 、岡部 隆義・内田 実・笹又 美穂 (一般社団法人スクリーニング学研究会)
12:00-12:30	セッション3.5	Accelerating Discovery with Self-Driving Labs Joseph S Brown (Acceleration Consortium, University of Toronto)
13:00-14:30	機器展示 ポスター発表	
14:30-16:00	セッション4A	研究自動化を実現するAIエージェント開発の実践ガイド 山田 涼太 (Science Aid株式会社) 、高木 志郎 (株式会社Unktok) 、田中 冬馬 (株式会社ブレインパッド)
	セッション4B	初心者向けAI講座 田原-新井 悠也 (筑波大学) 、松澤 亮輔 (筑波大学) 、他
	セッション4C	入場時に書いた“実験で今困っていること”を自動化の視点で解決するグループセッション 田原-新井 悠也 (筑波大学) 、田口 将大 (筑波大学)
16:00-16:30	クロージング	

## 月例勉強会開催実績

開催回	開催年月	会場	開催協力機関	現地参加者	オンライン参加者	演者	アクティビティ
67	2025.04	神戸市	理化学研究所	26	160	7	ロボット実験室見学
68	2025.05	東京都	株式会社Mujin	83	124	4	Mujin社ロボット見学
69	2025.06	仙台市	東北大学	30	177	5	東北大学 ロボット施設見学
70	2025.07	横浜市	中外製薬株式会社	80	234	4	中外ライフサイエンスパーク 横浜見学
71	2025.08	川崎市	テカンジャパン株式会社	38	159	5	TECAN社分注機見学
72	2025.10	神戸市	理化学研究所	24	163	6	ロボット実験室見学
73	2025.11	川崎市	島津製作所	44	165	5	Shimadzu Tokyo Innovation Plaza見学
74	2025.12	オンライン	-	-	登録中		オンライン開催会
75	2026.01	沖縄県	沖縄科学技術大学院大学				OIST自動化ラボ見学

## 予算案

- 収入 計 9,500,000 円
  - 参加費 1,500,000円
  - 協賛金 8,000,000円
  
- 支出 計 9,500,000 円
  - LADEC2025・会場費 1,500,000円
  - LADEC2025・運営委託費 3,000,000円
  - LADEC2025・学生旅費 1,500,000円
  - LADEC2025・スタッフ人件費・旅費 600,000円
  - LADEC2025・飲食費 1,700,000円
  - LADEC2025・雑費 300,000円
  - 月例勉強会・開催費 900,000円

※2025年12月時点での予定であり、変更になる場合があります。

## 協賛メニュー

協賛： 1口 50,000円 (非課税)

口数	1	2	3	4	5
LASA / LADEC Webサイトでの企業名掲載	0	0	0	0	0
LADEC 会場での企業ロゴ掲載 <sup>*1</sup>	0	0	0	0	0
LADEC 現地参加枠確約		0 1名	0 1名	0 2名	0 2名
LADEC 招待者限定意見交換会へのご招待 <sup>*2*3</sup>			0 1名	0 1名	0 2名

- 1) 貴社ロゴ等の使用についてご確認をいただく場合がございます。
- 2) LADEC2026の招待者限定意見交換会は7/1開催予定です。
- 3) 招待人数を超える方のご参加をご希望の場合はお一人様 ¥10,000 (当日払い) にて、最大3名/社まで承ります。